令和６年度　全国学力･学習状況調査
調査結果・分析

小野市教育委員会

令和６年４月１８日、小学６年生と中学３年生を対象に、国語、算数･数学の学力調査及び生活状況調査が全国一斉に実施されました。本市全体における結果及び分析についてお知らせします。なお、各学校では、調査結果資料を分析し、教育実践の成果と課題を明らかにするとともに、今後の学校経営や学習指導に活かしてまいります。また、分析内容については、各校ホームページや学校だより等でお知らせします。これからも、子どもたちの『夢と希望の教育』を推進してまいります。

令和６年１０月　　小野市教育委員会

小野市教育行政顧問　東北大学 川島隆太教授の脳科学理論より

前頭前野を発達させるために

	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
毎日､同じくらいの時刻に寝ている	**87%**	83%	**81%**	81%
毎日､同じくらいの時刻に起きている	**95%**	92%	**93%**	93%
朝食を毎日食べている	**96%**	94%	**94%**	91%

◆睡眠中に成長ホルモンが分泌され、その日の学習内容が定着すると言われています。成長期にある子どもたちにとって、『質の良い睡眠』は欠かせません。子どもたちの健やかな成長のために、ご家庭での継続したご支援をよろしくお願いいたします。

心の成長

	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
いじめは､どんな理由があってもいけないと思う	**97%**	97%	**97%**	96%
人が困っている時､進んで助ける	**97%**	93%	**93%**	90%
人の役に立つ人間になりたい	**100%**	96%	**96%**	95%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	**89%**	84%	**85%**	76%

◆小野市の子どもたちは、ご家庭や地域のあたたかい関わりの中で、人を思いやる気持ちや地域を大切にする気持ちが育っています。中でも、６年生の「人の役に立つ人間になりたい」という項目が100%でした。これからも小野市の子どもたちが、自分のことだけでなく、“人のために”という思いを大切にできるよう、保護者・地域・学校があたたかく見守っていきたいものです。

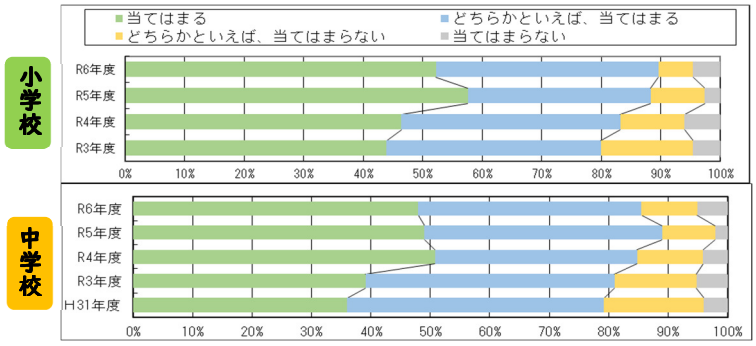
自尊感情～心の安定～

	小学校		中学校	
	小野市	全国	小野市	全国
将来の夢や目標を持っている	**88%**	82%	**66%**	66%
自分にはよいところがある	**90%**	84%	**86%**	83%
先生は、自分のよいところを認めてくれる	**92%**	90%	**92%**	90%
友達関係に満足している	**94%**	91%	**93%**	90%

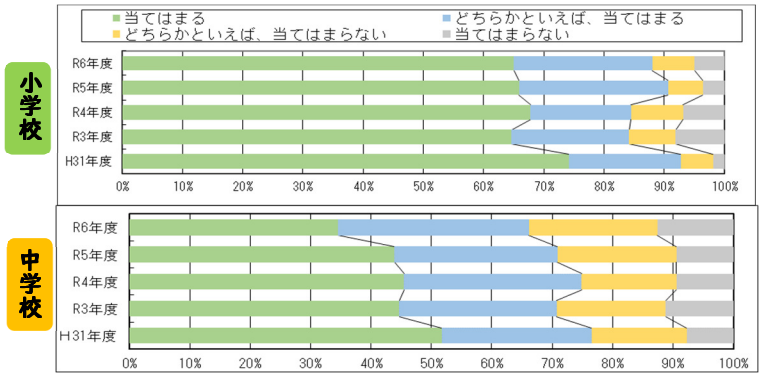
自分には、よいところがある

小野市の経年比較

※小学校の H31 は、質問項目なし



将来の夢や目標を持っている

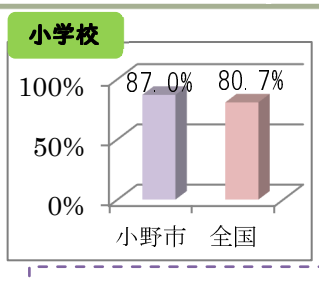


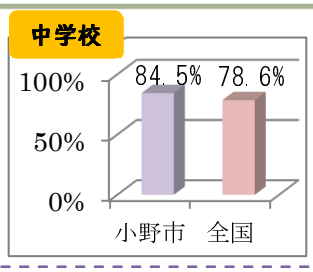
☆家族との会話がカギ

◆小野市の子どもたちは、家族や友達、地域の方や先生との関わりの中で自分の良さに気づき、自己肯定感は高いですが、社会情勢の不安からか、将来の具体的な夢や希望を抱きにくくなっているとも言えます。このことは、全国的に見ても、夢を持っている子どもの割合は、学年が上がるとともに低下傾向にあります。川島隆太先生の研究から、将来について、家の人と話し合っているかどうかが影響していることが分かっています。また、過去の全国学力・学習状況調査のデータ分析でも、家に帰ってからお家の人と話をよくする子どもほど、学力が高い傾向にあることも示されています。子どもたちが自分の夢に向かうために、ご家庭でのコミュニケーションがとても大切です。

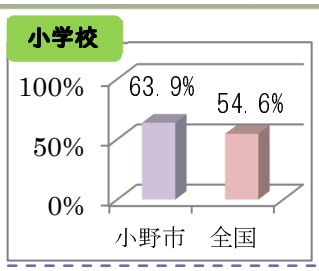
学びに向かう力・学習の習慣化

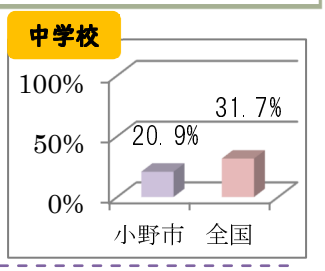
分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫する





平日、一日の学習時間（家庭学習）
【小学校：1時間以上、　中学校：2時間以上】





◆小野市の子どもたちは、概ね主体的に学習に取り組んでいます。しかし、ここ数年は家庭学習時間が小中学生ともに減少傾向にあり、特に中学生は顕著です。（全国 31.7%・小野市 20.9%）家庭学習の意義や計画的な進め方について、子どもたちと一緒に考えていきます。

学力調査 ～小野市の結果分析～

☆本年度は、国語と算数・数学の２教科を実施し、『知識』と『活用』が一体的に問われる問題形式でした。具体的な内容として、漢字や計算などの基礎・基本、文章や図・グラフから情報を読み取る力、論理的に問題を解決する力、自分の意見を論ずる力等が問われました。また、小・中学校ともに、これまでに学んだ複数の学習を関連づけたり、文章と図表を関連づけたりする力が求められていました。

	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
小野市	**71**	**66**	**59**	**54**
兵庫県	68	65	58	55
全　国	68	63	58	53

学力調査による市全体の結果です。小・中学校ともに、良好または同程度という結果でした。

小学校 国　語

☆漢字は全国比を大きく上回り、基礎学力の定着が図れています。また、文中の言葉を用い、字数制限のある中で自分の考えをまとめる力も定着してきています。

▼自分の考えが伝わるような表現の工夫を考えることに課題があります。普段から、伝える相手に合わせ、分かりやすい伝え方を考えたり、実際に伝える練習をしたりする経験が必要です。

小学校 算　数

☆数量関係を□を用いた式に表す、小数のわり算の計算、円グラフの読み取りなど、基礎的分野において、よく理解できています。

▼道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を説明することに課題があります。答えを出すだけでなく、その答えを導き出した過程を大切にしたいものです。

中学校 国　語

☆文脈を考えて漢字を正しく書くことができています。

▼他者の発言に結びつけて自分の考えを書く、目的に応じて必要な情報に着目して要約する等、「書く」問題に課題が見られます。

中学校 数　学

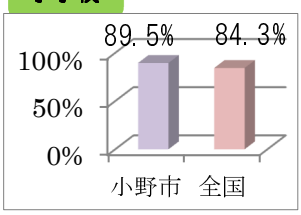
☆正の数と負の数の加法計算や確率の基本問題で正答率が高く、基礎学力が定着しています。

▼問題解決の方法を数学的に説明すること、複数のデータを比較して読み取り、数学的な表現を用いて説明すること、合同図形の証明問題に課題があります。

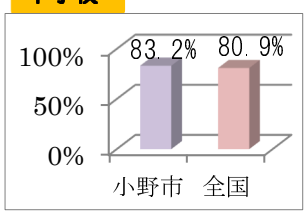
学習状況・授業づくり

これまで受けた授業では、自分に合った考え方、教材、学習時間になっている

小学校

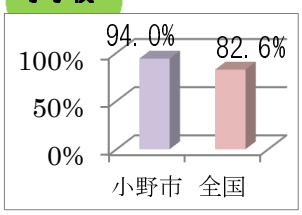


中学校

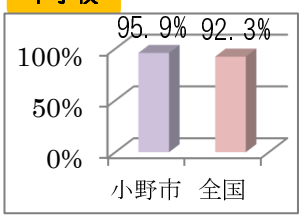


友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる

小学校



中学校

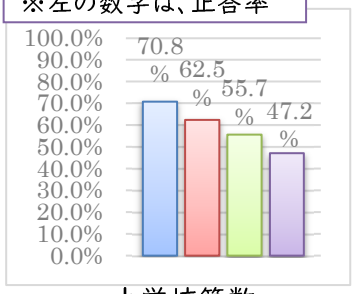


クロス集計 ～学力と生活・学習習慣～

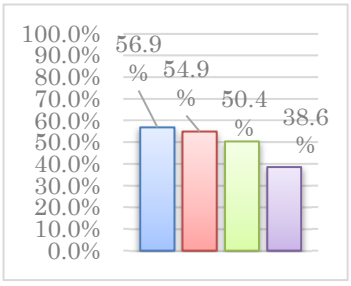
自分にはよいところがある（小学校）

地域や社会をよくするために何かしてみたい（中学校）

※左の数字は、正答率



小学校算数



中学校数学

※左から　・当てはまる　・どちらかといえば当てはまる
・どちらかといえば当てはまらない　・当てはまらない

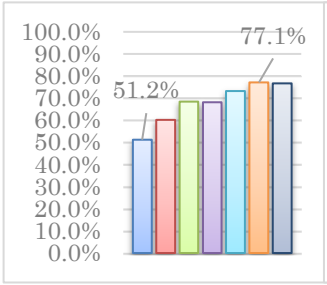
『クロス集計』とは

生活習慣や学習習慣と学力の相関関係について、考察するものです。

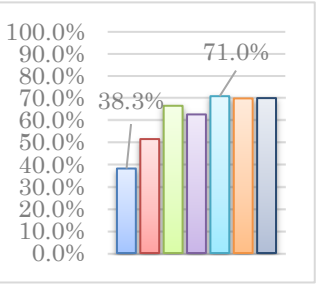
◆児童・生徒質問項目において、「自分によいところがある」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した子どもに、学力が高い傾向が見られました。
教科書や教室で学ぶだけではなく、普段の生活習慣や学習習慣が大切であることがわかります。

	上記の他にも、学力結果と相関関係があった生活・学習習慣（主なもの）
小学校	○毎日同じ時刻に寝ている ○人の役に立つ人間になりたい
中学校	○自分と違う意見について考えるのは楽しい ○友達や周りの人を大切にし、協力しながら課題解決に取り組んでいる
小・中共通	○授業で、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる ○学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできる ○算数（数学）の勉強は好き

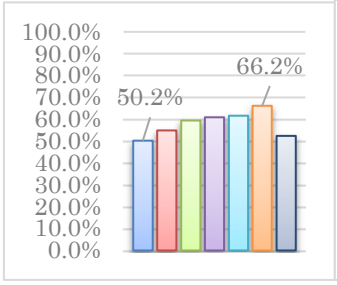
普段、１日当たりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（小・中学校）



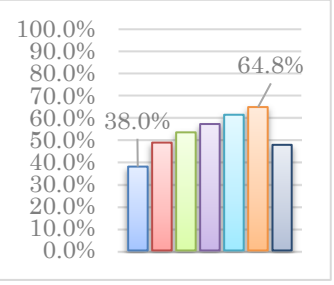
小学校国語



小学校算数



中学校国語



中学校数学

※左から ・4H 以上　・3H 以上　・2H 以上3H より少ない　・1H 以上2H より少ない　・30分以上1H より少ない　・30分より少ない　・全くしない

◆小学校国語や中学校において、SNS や動画視聴時間が３０分未満の児童・生徒の正答率が最も高く、小学校算数においても、１時間未満の児童が最も高い結果でした。スマホ使用時間が長時間になるほど正答率が下がっています。川島隆太先生の研究結果からも、「スマホの長時間使用は、学習時間が短くなるだけでなく脳の成長を止めてしまう」ということが明らかになっています。子どもたちの未来ために、「家庭でルールを決める」「使用時間を決める」等の対策が非常に大切です。

☆小野市では『夢と希望の教育』の推進を掲げ、児童生徒を学校・保護者・地域みんなで育てるという視点を大切に、「学力向上」「主体的で対話的な学び」「自主・自立の育成」に努めています。これからも「もっと学びたい・もっとできるようになりたい」という子どもたちの思いを大切に、友達と関わり合い、共に考えることを通して、「確かな学力」と「未来への道を切り拓く力」の育成に努めてまいります。